

# 2017年度版「図説・臨床看護医学」リファレンス一覧



\* 本表の対照試験問題は「第106回看護師国家試験（2017年）にて出題された問題」です。

\* 国家試験の設問は市販されている過去問題集よりピックアップの上、当社にて設問概要をまとめております。

SEQ	分野	午前/午後	設問No	設問概要	「図説・臨床看護医学」書籍内記載箇所	編集部メモ
1	感染	午前	2	感染症発症動向調査による年間の性感染症（STD）報告数	8巻『感染症』『非淋菌性尿道炎』p177	クラミジアは、近年世界的に最も頻度の高い性感染症の原因菌(性器クラミジア感染症)として知られ、わが国でもその蔓延が社会的な問題となっている。
2	老年	午前	4	介護保険法における第1号被保険者の規定	19巻『老年医学』『介護保険制度の概要』p12	介護保険の被保険者について、被保険者は65歳以上の第1号と、40～64歳の第2号に分けられる。
3	小児	午前	6	標準的な発育をしている乳児の体重が出生時の体重の約2倍になる時期	16巻『小児』『乳幼児健診』p127	[3か月検診]体重は出生時の約2倍になる
4	小児	午前	7	第二次性徴による身体の変化	12巻『小児』『思春期早発症』p195	男児は精巣や陰茎の肥大、陰毛、腋毛、ひげの出現、声変わりが見られる
5	循環器	午前	11	大動脈に血液を送り出す部位	2巻『循環器』『循環器の構造』2(図)	体循環系は左心室(左室)から全身に動脈血を送り、各組織に酸素と栄養を供給、また組織の活動によって生じた代謝産物と二酸化炭素を回収し、静脈血となり右心房(右房)に還流する。一方、肺循環系は全身を循環した静脈血を右心室(右室)から肺に送り、ガス交換により酸素化し、動脈血として左心房(左房)に還流する
6	呼吸器	午前	12	喀血が起こる出血部位	1巻『呼吸器』『血痰、喀血』p80	血痰と喀血はともに気道からの出血を意味し、血痰は喀痰に血液が混じったもので、喀血は気道から血液が喀み出されることである
7	循環器	午前	13	胸痛で訴えるもの	2巻『循環器』『胸痛』p38 (図/表)	胸痛をきたす疾患にはさまざまなものがある。多くは胸腔内臓器や胸壁の疾患、一部は脊椎や上腹部臓器の疾患に由来する。しかし、心血管と肺に起因する重篤な疾患が大多数を占めるため、患者が胸痛を訴えた場合には早急に診断を下し、適切な処置が必要となる
8	脳神経	午前	14	小脳失調でみられるもの	10巻『脳神経』『構造と機能』p17	小脳は種々の運動機能の調節をしているといえる。したがって、小脳が機能しなくなると、個々の筋力は保たれているにもかかわらず、スムーズな動作ができなくなる
9	代謝・内分泌	午前	15	せん妄の誘発因子	7巻『代謝』『マグネシウム代謝異常』p154 6巻『内分泌』『副甲状腺疾患』p175表2	人格変化、抑うつ、集中困難から始まり、せん妄、錯乱、見当識障害、幻覚が出現する 低Ca血症による症状/精神症状(不安、錯乱、易興奮性、せん妄)
10	母性	午前	25	経産婦の正常な経過	17巻『母性』『分娩の定義』p21	分娩の経過について [分娩第1期(開口期)] 分娩陣痛開始から子宮口が全開大するまでの期間
11	耳鼻咽喉	午前	27	角加速度感知	12巻『耳鼻咽喉』『耳の構造と機能』p8	b. 半規管 たがいに直角をなす外側(水平)、前(垂直)、後(垂直)の3つの半規管からなり、体の回転など角加速度を感受するものである
12	呼吸器	午前	28	縦隔に含まれるもの	1巻『呼吸器』『縦隔鏡検査』p138	縦隔とは前方は胸骨、後方は胸椎、下方は横隔膜、上方は胸郭入口部、左右は壁側胸膜で囲まれた部分であり、上、前、中、後縦隔の4つに分けられる。呼吸器、消化器、循環器の各種臓器の通路になっている
13	消化器	午前	29	胆汁について	3巻『消化器』『構造と機能』p14	膵からの分泌物は炭酸水素イオン(HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )を含むためアルカリ性である
14	内分泌	午前	30	ホルモンと分泌部位の組合せ	6巻『内分泌』『構造と機能』p3	下垂体ホルモン プロラクチン(PRL): 198個のアミノ酸からなる単純蛋白で、乳汁分泌促進、水代謝調節作用をもっている
15	代謝	午前	31	腹部CTについて	7巻『代謝』『肥満症』p130	メタボリックシンドロームは、図2のように診断基準が定められているが、内臓脂肪の蓄積の評価は、腹囲でなく、内臓脂肪面積を腹部CTにて評価することが望ましい。
16	精神	午前	33	Alzheimer (アルツハイマー) 病について	15巻『精神医学』『認知症』p229	脳病変としては、大脳萎縮、アミロイドβ蛋白(Aβ)の凝集蓄積した大脳皮質の老人斑(図1)、タウ(tau)蛋白の凝集線維化した神経原線維変化(neurofibrillary tangle; NFT、図2)の3つが特徴である。
17	老年	午前	36	高齢者における肺炎の三次予防	19巻『老年医学』『肺炎』p139	高齢者の肺炎を予防することが大きな課題であり、口腔クリーニング、誤嚥の予防、また積極的なワクチン接種といったことが望まれる
18	内分泌	午前	41	ヨード制限食について	6巻『内分泌』『甲状腺機能検査』p64 表	約1週間のヨード制限が必要となる。シンチグラフィはバセドウ病と機能的腫瘍との鑑別に用いられる
19	循環器	午前	47	自動体外式除細動器 (AED) による電氣的除細動の適応	2巻『循環器』『不整脈』p201	電氣的除細動(electrical defibrillation)とは、心室細動が原因で心停止に陥った心臓に電流を流すこと(いわゆる電気ショック)により、いったん心筋細胞を脱分極させて異常な興奮伝導を抑えることによって細動を消失させ、その後正常な興奮伝導が再開することを期待する処置である
20	消化器	午前	51	罹患した肝炎について	3巻『消化器』『ウイルス肝炎』p368～371	経口感染(糞口感染)でA型肝炎ウイルス(hepatitis A virus; HAV)に汚染された飲食物や飲料水により感染し、急性肝炎を発症する。生ガキなどの生の魚介類の摂取により感染することが多く、1～2%が慢性肝炎へと移行する
21	内分泌	午前	52	ホルモン負荷試験について	6巻『内分泌』『卵巣機能検査』p84(図)	ホルモン負荷試験ホルモン薬の投与に対する子宮出血や排卵の有無を指標として卵巣機能を検査する方法

# 2017年度版「図説・臨床看護医学」リファレンス一覧



\* 本表の対照試験問題は「第106回看護師国家試験（2017年）にて出題された問題」です。

\* 国家試験の設問は市販されている過去問題集よりピックアップの上、当社にて設問概要をまとめております。

SEQ	分野	午前/午後	設問No	設問概要	「図説・臨床看護医学」書籍内記載箇所	編集部メモ
22	婦人科	午前	53	乳癌の自己検診法について	18巻『婦人科』「乳腺疾患」p150	診断には視診と触診が非常に重要で、視診上では左右の非対称性、皮膚や乳頭の陥没、オレンジ皮様皮膚病、限局性浮腫などに留意する。触診上では“しこり”を触れることであり、その性状が不整形、表面凹凸不整、境界不明瞭、硬く可動性が少ないなどのほか、えくぼ徴候(dimpling sign)が重要である
23	精神	午前	58	Lewy（レビー）小体型認知症の初期にみられる症状	15巻『精神医学』「認知症」p233	レビー小体病を伴う認知症 反復性の幻視が特徴的で、典型的なものは人物や小動物の姿などであり、具体的に生々しい
24	老年	午前	59	介護保険法で規定されている施設について	19巻『老年医学』「医療・福祉サービス」p15	(特別養護老人ホーム) 介護保険法では介護老人福祉施設という。心身の障害により自宅で自力で生活することが困難であり、家族による在宅介護を受けることができず、在宅介護サービスより施設入所にほうが要介護認定者の生活の質(QOL)にとって望ましい場合に入所できる。入所者に対して日常生活の介護、ADLの訓練、病院への搬送や付き添いなど、介護保険が適用される全サービスを行う
25	小児	午前	61	長期間の無月経について	16巻『小児』「思春期やせ症」p330	
26	母性	午前	63	妊婦の感染症と児への影響の組合せ	17巻『母性』「母性領域の感染看護」p60	表2(感染経路と児への影響)参照。風疹ウイルス 先天性風疹症候群(白内障、心疾患、難聴)
27	循環器	午前	74	起立性低血圧について	2巻『循環器』「めまい、失神」p47	[起立性低血圧] 健常者では起立時に交感神経が緊張し、血流を維持しようとする自律神経調節機構が働く、これが障害されると、起立時に下肢血管に血流が貯留し、静脈還流量が減少し、心拍数も減少して血圧低下が生じる
28	消化器	午前	82	潰瘍性大腸炎の特徴	3巻『消化器』「潰瘍性大腸炎」p266	潰瘍性大腸炎は大腸の粘膜層に潰瘍を伴う広範な炎症を伴う疾患で、若い人に多くみられ、経過中にいろいろな腸管外合併症をきたし、長期にわたる場合には大腸癌の合併もみられる。 直腸あるいはS状結腸の内視鏡検査を行って本症に特有な腸病変を確認する
29	眼科	午前	85	疾患を診断するのに必要な検査	11巻『眼科』「視野の異常」p48-49	●診断の基礎とその進め方を参照。 1. 視力検査、2. 瞳孔反応、3. 眼圧測定、4. 視野検査、5. 中間透光体検査、6. 眼底検査、7. 電気生理学的検査、8. 頭蓋内病変に関する検査
30	感染・小児	午前	86	麻疹に関して	8巻『感染症』「ワクチン」p45 表「わが国の予防接種スケジュール」 16巻『小児』「麻疹」p225	麻疹においては、1~2歳前後での罹患率が高いため、予防接種法による定期接種の開始時期である1歳の誕生日以降、できるだけ速やかに麻疹ワクチンの接種を必要とする。 また、脳炎を合併すると予後不良のことがある。
31	婦人科	午前	87	月経周期で推定される状態	18巻『婦人科』「女性性器の構造と機能」p13 図「性周期」	
32	小児	午前	106	正常から逸脱している男児の状態	16巻『小児』「新生児健診」p136 表「出生後の全身の変化と生理」に「呼吸数40~50/分」	
33	救急	午前	115	救命救急センター到着時の観察項目	20巻『救急医療』「看護上の要点」p48	初期観察は共通したアプローチ(ABCDEアプローチ)で行われる。A(airway): 気道が確保されているか、B(breathing): 呼吸が正常であるか、C(circulation): 外出血を含め循環が正常であるか、D(dysfunction of CNS): 意識レベルの程度はどうか、E(exposure and environmental control): 体温と保温の異常がないか患者を評価する。これらは、他の疾患の場合も同様のアプローチで行われる
34	老年	午後	4	後期高齢者医療制度	19巻『老年医学』「介護支援」p53 表2	高齢者の医療の確保に関する法律 1982年成立の老人保健法による高齢者医療制度の 財政的破綻に伴い、2008年に成立した。前期高齢者(65歳以上、75歳未満)と後期高齢者(75歳以上)に分類し、後期高齢者を健康保険制度から移行させ、後期高齢者医療を独立した保険制度とした
35	母性	午後	6	胎児の肺機能の成熟時期について	17巻『母性』「胎児成熟度検査」p91	肺サーファクタントは妊娠34週ころから急上昇し、肺の成熟を示す1.0mg/dL以上を示すようになる。このことから、正常妊娠における胎児肺の生化学的成熟は34週ころに得られるものと推定される
36	老年	午後	9	介護老人保健施設の設置目的	19巻『老年医学』「医療・福祉サービス」p15	[介護老人保健施設] 病状安定期にあり入院治療の必要はないが、ADL向上のための医療、看護、介護を必要とする要介護認定者が入所できる。リハビリテーションを中心とした医療サービスを提供し、在宅復帰を目的とする。介護保険制度により運営され、特別養護老人ホームと在宅介護の中間施設と位置づけられる
37	脳神経	午後	11	神経伝達物質について	10巻『脳神経』「筋疾患」p303	神経終末から筋肉への刺激の伝達にはアセチルコリンの遊離が必要
38	消化器	午後	13	下血がみられる疾患	3巻『消化器』「下血」p90-91 表「下血の部位と原因疾患」	頻度が高いのは大腸憩室、大腸炎、大腸癌または大腸ポリープ、血管異形成、内痔核、裂肛である
39	腎・泌尿器	午後	14	無尿の定義となる1日の尿量	4巻『腎・泌尿器』「多尿、乏尿、無尿」p54	尿量が1日100mL以下になると無尿という
40	感染	午後	15	飛沫感染について	8巻『感染症』「感染と免疫」p16 表「感染経路」	

# 2017年度版「図説・臨床看護医学」リファレンス一覧



\* 本表の対照試験問題は「第106回看護師国家試験（2017年）」にて出題された問題です。

\* 国家試験の設問は市販されている過去問題集よりピックアップの上、当社にて設問概要をまとめております。

SEQ	分野	午前/午後	設問No	設問概要	「図説・臨床看護医学」書籍内記載箇所	編集部メモ
41	感染	午後	16	水痘の症状について	8巻『感染症』「水痘・帯状疱疹ウイルス感染症」p162 写真	感染後数日のうちにウイルス血症となり、その後、発熱とともに皮疹がみられる。皮疹は小紅斑→丘疹→水疱形成→びらん→痂皮→色素脱と経過する
42	脳神経	午後	18	ジャパン・コマー・スケール（JCS）について	10巻『脳神経』「看護行動に共通する行為」p76 表「JCSによる急性期の意識レベルの評価尺度」	
43	脳神経・母性	午後	20	Sims(シムス)位について	10巻『脳神経』「症状および診断・治療法の基礎」p39 図「シムス体位」	
44	小児	午後	21	Kaup(カウプ)指数の計質式について	16巻『小児』「発育・発達不良」p80	カウプ指数=体重(g)/[身長(cm)] <sup>2</sup> ×10
45	感染	午後	22	針刺し事故による感染	8巻『感染症』「感染と免疫」p13 p16に表「感染経路」	接触感染は、粘膜の接触によって起こり、AIDS、B型肝炎ウイルス、梅毒、ヘルペスウイルス、子宮頸癌の原因
46	循環器	午後	26	刺激伝導系について	2巻『循環器』「循環系の構造」p6 図「刺激伝導系の構造」	これを刺激伝導系といい、洞結節、房室結節、ヒス(Hiss)束、左脚、右脚、前枝、後枝から構成され、ヒス束以下末端までの神経細胞をプルキンエ(Purkinje)線維という
47	内分泌	午後	27	アルドステロンについて	6巻『内分泌』「副腎皮質機能検査」p72	アルドステロンは鉱質コルチコイドで、主として腎尿管に作用しナトリウムを再吸収、カリウム排泄を促進する
48	呼吸器	午後	28	慢性閉塞性疾患について	1巻『呼吸器』「慢性閉塞性肺疾患」p197	静肺コンプライアンスの増加、%DLCO肺拡散能低下がみられる
49	整形外科	午後	29	腰椎椎間板ヘルニアについて	13巻『整形外科』「腰椎椎間板ヘルニア」p140	男性は女性よりも約2~3倍発症率が高く、好発年齢は20~40歳代、好発高位はL4~5、L5~S1の下位腰椎である。画像検査では、MRIの診断的意義がきわめて高い
50	腎・泌尿器	午後	36	検査の目的と採尿方法の組合せ	4巻『腎・泌尿器』「尿採取法」p88	尿の濃度や酸度の関係で、有形成分が崩壊しにくい早期第一尿の中間尿が尿沈渣に最も適している
51	耳鼻咽喉	午後	41	下咽頭癌(hypopharyngeal cancer)で放射線治療について	12巻『耳鼻咽喉』「口腔に関する症状」p84	口内乾燥は粘膜上皮を障害して、口内痛、味覚障害などの症状を起こし、また自浄作用の障害によって、う歯、大唾液腺の炎症を起こす
52	代謝	午後	42	1型糖尿病(type1 diabetes mellitus)について	7巻『代謝』「糖尿病」p51	血糖値が正常の範囲を超えて急速に低下した結果生じる症状(交感神経刺激症状)として、発汗、不安、動悸、頻脈、手指振戦、顔面蒼白などがある
53	耳鼻咽喉	午後	43	アレルギー性鼻炎(allergic rhinitis)について	12巻『耳鼻咽喉』「鼻アレルギー検査」p115 表「検査の手順」 12巻『耳鼻咽喉』「鼻アレルギー」p164	検査手順は好酸球検査、皮膚テスト、誘発テスト、抗体定量。I型アレルギー反応を起こし、その結果発症する。発作は朝起床時に多く、モーニングアタックという。抗原の除去、回避が必要である
54	老年	午後	48	老年期のうつ病(depression)について	19巻『老年医学』「老年期うつ病」p112	抑うつ気分、意欲の低下、興味や関心の低下、悲観的・自責的な考え、自殺念慮、思考の渋滞、不安・緊張・焦燥感、行動の減少・鈍化などの精神面や行動面の症状
55	老年	午後	49	高齢者の術後の呼吸器合併症について	19巻『老年医学』「呼吸器系の加齢変化」p148	全肺気量は高齢者でもほとんど変化しないが、残気量は増加する傾向にある。全肺気量は比較的变化が少ないため、残気量が増加した結果肺活量は減少する
56	小児	午後	50	学童期の肥満について	16巻『小児』「肥満症」p198	成人メタボリックシンドローム予備軍として注目されている
57	母性	午後	52	受胎のメカニズムについて	17巻『母性』「妊娠の成立と維持」p4 図6「受精卵の移送」	
58	精神	午後	55	行動のアセスメントについて	15巻『精神医学』「脳血管障害による精神障害」p186	意識混濁に精神運動興奮が加わった状態で、幻視を主とする活発な幻覚を伴うせん妄が夜間に現れるものである。脳動脈硬化症患者、心肺機能が低下していたり潜在的な不安をもっていたりする高齢者では、ちょっとした環境の変化をきっかけに現れることが多い
59	精神	午後	56	2人以上の精神保健指定医による診察結果の一致が要件となる入院形態	15巻『精神医学』「精神保健福祉法」p238 表	入院形態としては、表2に示したように、任意入院、医療保護入院、措置入院、緊急措置入院、応急入院があり、それぞれ指定された病院に入院しなければならない
60	循環器	午後	62	天災による注意すべき状態について	2巻『循環器』「電解質異常による不整脈」p204 表「高カリウム血症の原因」	
61	救急	午後	63	災害医療におけるトリアージについて	20巻『救急医療』「救急医療と看護」p48	トリアージ(triage)とは「選別」と直訳されるが、救急医療においては「優先順位の選別」という意味がある。救急患者は、救急車だけでなく徒歩や自家用車で受診するため、救急外来では来院した順番や受付した順番にこだわるのではなく、患者の状態を評価し、それによって早急な診察を要する患者と治療を要する患者を見分ける必要がある

# 2017年度版「図説・臨床看護医学」リファレンス一覧



\* 本表の対照試験問題は「第106回看護師国家試験（2017年）」にて出題された問題です。

\* 国家試験の設問は市販されている過去問題集よりピックアップの上、当社にて設問概要をまとめております。

SEQ	分野	午前/午後	設問No	設問概要	「図説・臨床看護医学」書籍内記載箇所	編集部メモ
62	婦人科	午後	65	骨盤腔内器官について	18巻『婦人科』「女性性器の構造と機能」p5 解剖図「外陰」	
63	循環器	午後	68	チェンソーの使用について	2巻『循環器』「レイノー症候群」p386 表「レイノー症候群の原因」	
64	老年	午後	70	病的な老化について	19巻『老年病』「閉塞性動脈硬化症」p155	動脈の内膜や中膜にアテローム(粥腫)、線維化、石灰化を生じ、動脈壁の肥厚と硬化をきたす。アテロームや肥厚のため内腔は狭窄し、血栓の形成から動脈閉塞に至る
65	眼科	午後	74	眼球内での光の通路について	11巻『眼科』「構造と機能」p3 図「眼球の縦断面と内部構造」	
66	消化器	午後	75	排便時の努責について	3巻『消化器』「テムスネス、排便障害」図「排便反射と直腸肛門反射」	
67	循環器	午後	77	狭心症 (angina pectoris) の治療に用いる薬について	2巻『循環器』「狭心症」p318	硝酸薬の投与により冠動脈拡張や冠血流量増加がみられ、心筋への酸素供給改善が認められる。さらにβ遮断薬、カルシウム拮抗薬の投与によって心筋酸素消費抑制効果が期待される
68	血液・造血器	午後	78	出血傾向を把握について	5巻『血液・造血器』「出血傾向と紫斑」p96 図「出血傾向診断の進め方」	
69	消化器	午後	79	胃食道逆流症 (gastro-esophageal reflux disease) について	3巻『消化器』「胃食道逆流症、逆流性食道炎、食道裂孔ヘルニア」p186	内服治療としては、酸分泌抑制薬であるプロトンポンプ阻害薬(PPI)およびヒスタミンH2受容体拮抗薬(H2RA)が広く用いられる。今後バレット食道腺癌も増加することが予測される
70	腎・泌尿器	午後	81	腹圧性尿失禁 (stress incontinence of urine) のケア	4巻『腎・泌尿器』「過活動膀胱」p231	骨盤底の脆弱化に起因する腹圧性尿失禁
71	老年	午後	86	女性のホルモン上昇について	19巻『老年医学』「内分泌機能の加齢変化」p179 図「性ステロイドホルモンの加齢に伴う推移」	
72	老年	午後	91	日常生活自立度 (寝たきり度) 判定基準について	19巻『老年医学』「寝たきり高齢者の看護」p42 表「障害のある高齢者の日常生活自立度 (寝たきり度) 判定基準」	
73	腎・泌尿器	午後	98	特発性ネフローゼ症候群の摂取制限について	4巻『腎・泌尿器』「ネフローゼ症候群」p156	浮腫が著明なときは付加食塩3g/dayとする
74	母性	午後	100	妊婦の食事指導について	17巻『母性』「妊娠悪阻」p102	栄養価などにはあまりこだわらずに、自分が好きなものを好きなように調理して、少量ずつ何回にも分けてとらせる
75	母性	午後	101	妊婦健康診査について	17巻『母性』「妊婦の看護」p48 図「妊娠に伴う母体の変化」	
76	精神	午後	107	幻聴の療法について	15巻『精神医学』「心理社会的治療」p21	家族グループを対象にした心理教育が実施されることが多い
77	腎・泌尿器	午後	116	持続的血液透析の退院指導について	4巻『腎・泌尿器』「透析療法」p169 表6「透析患者の食事療法」「蛋白質 1.0~1.2kg/日」	
78	循環器	午後	117	急性心筋梗塞の検査所見について	2巻『循環器』「心筋梗塞」p323	急性期には、まずST上昇、T波の増高、次いでSTの上昇が続き、冠性T波、さらには特徴的な異常Q波が出現する
79	免疫	午後	119	入院時のアセスメントについて	9巻『免疫・アレルギー』「全身性エリテマトーデス」p137	ループス腎炎と呼ばれ、SLEの予後に関係する重要な症状である